



飯能ロータリークラブ会報



桜の中央公園と天覧山

© photo by Hiroyuki Maejima

ロータリーは機会の扉を開く

RI会長 ホルガー・クナーク

2570地区ガバナー 相原茂吉

第3グループ
ガバナー補佐 西澤長次

Let's make fellows! 友達をつくろう

第2962例会 2021. 5. 26

—— 青少年奉仕月間 ——

天候 晴 (NO. 57-48)

会長 田辺 實 幹事 森 健二

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 馬場君、藤原君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)973-1661 FAX(042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 田辺会長
- ・ソング 手に手つないで 四つのテスト
- ・ロータリーの目的唱和 加藤職業奉仕委員
- ・卓話 小谷野大典会員 斗光健一会員

《臨時総会》 進行 田辺会長

【出席報告】MU・無届欠席0 神田(敬)出席向上委員長

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
69名	5名	64名	92.75%	94.20%

定数の3分の2以上の出席により総会が成立、審議に入ります。5/12 神田(康)細則変更準備委員長より趣旨説明、書面通知。10日間を経て異議申し立てが無く、採決を行います。「第1号議案」賛成の方は挙手をお願いします。賛成多数、原案通り承認されました。

【会長報告】

臨時総会にご協力有難うございました。神田(康)委員長には3回の委員会で慎重に検討され、本当に有難うございました。来週はガバナーが訪問、入会式です。出来る限り制服の着用をお願い申し上げます。

第33回会長3分間スピーチ「心耳を澄ます」

一冊の本を手に取り、開いた。『森信三一日一語』。そこには深い人生の心理と哲理が凝縮された言葉がちりばめられ、寸言は心に沁みだ。日々の営みに忙殺されている時、人は大事なものを見過ごしてしまうものらしい。多忙な日常が作り出す騒々しい心、浮ついた心、がさついた心。心がそういう状態にある時、どんな出会いも命を孕む事なく素通りしてしまう。心耳を澄まさなければ聞こえてこない、見えてこない世界がある。諸葛孔明はわが子を戒めた手紙にこう記している。「寧静に非ずんば以って遠きを到(きわ)むるなし。寧静でなければ偉大な理想を実現する事は出来ない。中国の古典『呻吟語』で呂新吾もこう述べる。「躁心・浮気・浅表・狭量、この八字は徳に進む者の大忌なり。この八字を去るに只だ一字を用い得。曰

く静を主とす」。徳を身につけようとするならただ静謐であれという事である。今、世情は先行きの見えにくさ、捉えどころのない不安な予感に徒らに騒ぎ立ち、あるいはそこから目を背けて流されていく気配が濃い。このような時だからこそしばし足を止め、心耳を澄ます時間をもつ事が必要なのではないだろうか。

飯能RCでも、コロナ禍の中、心耳を澄まし、万全の対策を施して例会を行いたいものです。

【幹事報告】

6/24 理事委員長反省会、出欠をお届け下さい。

◎例会変更のお知らせ

◇所沢中央RC 6/14(月) 休会(細則5条)

【委員会報告】

◎会計

半田君

来月決算のため、会費納入および立替金その他の清算を早めにお願ひ致します。

◎次年度幹事

大野(康)君

6/2 例会後、新年度第1回の役員理事会を開催します。よろしくお願ひ致します。

【ロータリーの友】

本間雑誌委員

5月号。縦組P9「この人訪ねて」「6次化」事業。P15「俳壇」(日高)長澤、引間会員の句。P21「ロータリー・アット・ワーク」飯能RC「優勝杯贈呈」の記事。

【SAA報告】

吉澤副SAA

◎ニコニコBOX

- ・斗光会員、小谷野(大)会員、イニシエーション・スピーチ
- ・よろしくお願ひします。神田康夫細則変更委員長さん
- ・大変お世話になり有難うございました。 田辺会長
- ・前回遅刻しました。 吉田(健)君
- ・大学3年砲丸娘、関東インカレ15m14、2連覇!
- ・大野(康)君
- ・大野(康)君

・早退します。

本日計5,000円、累計額1,063,001円。

◎2日例会当番は半田、細田(尚)会員です。

【卓話】

講師紹介

伊澤プログラム委員長

斗光会員は47歳、(株)トコウ代表取締役。紹介者は天ヶ瀬会員です。小谷野(大)会員は46歳、(株)小谷野水道設備代表取締役。紹介者は島田会員です。

イニシエーション・スピーチ

飯能RC 小谷野大典会員
飯能RC 斗光健一会員



小谷野(大)会員 思い返すとあまり良い事が浮かばず、悔しかった事や悔いた事、失敗ばかりが思い出されます。

少年野球の「精明スロウズ」では万年補欠。練習は大好きでしたが本番で緊張して力が発揮出来ず、皆に迷惑をかけるのが怖くてベンチで応援している方が好きなタイプでした。自分を表現する事が苦手で、個人スポーツの方が向いているかと思ひ、飯能第一中学校では剣道部に入部。剣道部だった父にも教わりながら初段までは取りました。ただ、人間向陽高校では練習の厳しさに耐えられず1年で退部。部活を続けられなかった事は人生で悔やむ1つ目の出来事です。進路を決める際は映画『トップガン』のトム・クルーズに憧れて自衛隊の航空学生を受験。海自に合格したので、7年後には潜水艦を追いかけるP-C3のパイロットになれたかもしれませんが、ジェット機乗りになりたかったという理由の下に辞退。それも、実家を離れての寮生活や厳しい訓練等に対する不安に負けたというような感じの辞退でした。これが人生2つ目の悔やみです。

大学は断念して水道事業設備の専門学校に進学。図面を描く事や計算、現場での手作業等は自分に向いていたのかもしれませんが。大学受験のため基礎的な勉強もしていたので苦勞無く授業についていけました。卒業時、「うちに来ないか」と誘って下さった方が居り、その先生の授業は大変分かり易く、慕ってもしましたので、他を受けずにその水道工事店に就職。会社は世田谷区奥沢、田園調布と自由が丘の間にあり、飯能で走っている軽自動車と同じ位の数のベンツが走っていました。初めての一人暮らしは自炊もせずいつも弁当。たまに社長がご馳走してくれるのが楽しみでした。天ぷら屋さん連れて行ってもらった時は目の前で揚がったものがすぐ食べられて「天ぷらとは美味しいものなのだ」と感じました。社長からは仕事や人間関係のつきあいだけでなく、いろいろな事を学ばせて頂きました。

5年の修業を終え、父の経営する会社就職したのは25の時。一口に「水道屋」と言っても様々で、当社は水道管の敷設、修理工事が主。水道屋で修業した私にも初めての事が多く、最初は戸惑いました。そんな中、水道工事店組合の青年部に入会する事になり、同世代の2代目、3代目の仲間が増え、仲間から仕事を学ぶ事が多くなりました。今は青年部も無くなり、仲間は皆、親組合の理事として活躍しております。

水道事業はほぼ地方自治体が個々に運営しているのですが、周辺市に比べ飯能市の有収率(作った水量と使われる水量の比率)は非常に悪く、各戸に行くまでにロスが生じている状況です。そのため数年前からまちなかを中心に新しい水道管への入替工事を毎年行っています。ご不便をおかけしますが、水道水が普通に飲める、世界に類を見ないような日本の水道事業にご理解を頂き、見守って頂きたいと思ひます。

地元に戻って3、4年して、青年会議所からお誘いがあったのですが入りませんでした。これも、新たな場に行く勇気が無かったのではないかとと思われ、人生の中で3番目の悔やむ事になりました。後悔を少なくしたいという気持ちで、飯能商工会議所青年部にお誘いを受けた時には入会し、良い先輩に恵まれ

ました。本気で怒って下さり、いろいろな事を学ばせて頂いております。感じたのは、誘われたら入ってみよう、仕事を頼まれたら断らない、期待してくれる人が居る限りやってみようという事です。そんな中、RCからもお誘いがあり入会させて頂きました。貴重なご縁を大切に、少しでも皆さんのお力になれるようになりたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。



斗光会員 青梅市河辺町在住

ですが出身はあきる野市です。力だけは強く、ジャイアンみたいな子どもでした。小学校の頃プロレスがTV放映されていてタイガーマスクの大ファンで、友達に技をかけて慕っていました。中学はバレーボール部、拓殖大学第一高校(小平市)ではラグビー部。中高と体育会系で育ちました。親が学校に呼び出されるよう

な生徒で、拓大には進めなかったのですが、「大学生」「一人暮らし」「北海道」への憧れから函館大学に進学。大学では遊びに夢中になりました。見るもの全てが新鮮で楽しく、合コンのダブルヘッダーをやったり、年に5、60回スキーに行ったりしました。初めての海外旅行でカナダに行き感動し、景色をいろいろ見てみたいと思ひ、アルバイトでお金を貯め、4年になる時に1年休学してカナダ、北米を回りました。

1年遅れて卒業して(株)セレスポに入社。イベントの企画運営を総合的に行う会社で、仙台支店に配属、仙台に住む事になりました。4年目に父が脳梗塞を患ひ、それをきっかけに父の会社、(有)トコウ塗装工業に入る事に決めました。それからは職人として、明けても暮れても塗装する日々。27、8歳の時です。

次の転機は結婚でした。35歳の時。妻との馴れ初めには僕が「この先絶対頑張るぞ」と思った瞬間があります。妻とは学生時代、18の時に函館で知り合いました。本気で恋に落ち、片思いでしたが思ひ続けていました。函館を離れてからもずっと引きずっている感じだったので、数年して友人から「函館で結婚して子どもが出来た」と聞き、完全に諦めました。

3、4年後、僕が33の時、今度は友人から電話で「離婚した」との事。僕は他の方と同棲して結婚も考えていたのですが、居ても立っても居られず、けじめをつけようと思ひ函館に行きました。数年振りの再会。会ったらもう「この人でなければダメだ」と思ひ、付き合っていた方とはお別れして、1年間、月1回函館に通うようになりました。僕には今、20歳の大学3年の息子と12歳の中学1年の息子が居るのですが、上の息子は当時6歳、小学1年生。妻と共に息子も口説き落とさなければいけないので毎回たくさんのおもちゃを買って3人でデートしております。その甲斐あって「東京に行ってトコウくんと暮らす」と言ってくれ結婚して東京に来る事になりました。そして、今でも忘れられないのが、初めて両親と対面した時の事です。申し訳なさそうにしている2人に対し、僕の父親が6歳の息子のところに行ってサッと抱き上げ、「東京においで」と言ってくれました。絶対に頑張るってこの人達を幸せにする。両親を含め、この家族を幸せにする、と強く感じた瞬間でした。このような事が有り今は本当に幸せに過ごさせて頂いております。

結婚と同時に、35で現在の(株)トコウを立ち上げました。入間市で塗装を行っております。メインは金属製品への焼付塗装：機械装置のフレーム、カバー、電化製品、オフィス家具、建築資材等。木工製品や樹脂、プラスチック等、様々な素材に塗装出来る事を強みとして、建築塗装も含め、塗装の事なら何でもお任せ下さいという事で頑張っております。社員数42名。技術力はもちろん、対応力、提案力にも磨きかけ、「みんなで良い会社をつくろう」をモットーに会社運営をしています。塗装業は典型的な3Kの仕事ですが、それならば「塗装屋になりたい」ではなく「うちで働きたい」と言ってもらえるような会社づくりをしようという思ひを掲げて頑張っております。